

令和3年度 環境経営レポート



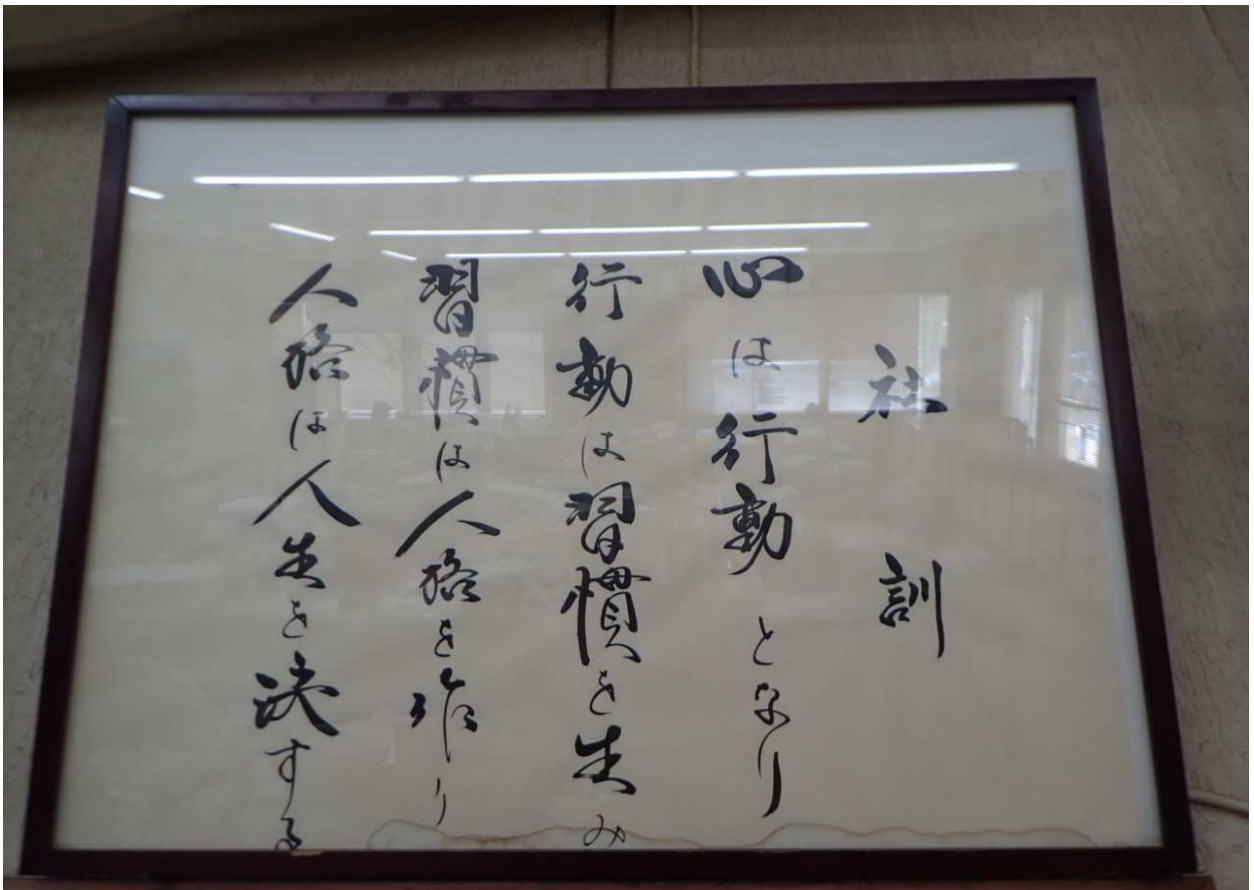
エコアクション21[®]
認証番号 0007580

自 令和3年7月1日 ~ 至 令和4年6月30日



藤野建設株式会社

令和3年8月11日 発行



社訓

心は行動となり

行動は習慣を生み

習慣は人格を作り

人格は人生を決する

藤野建設株式会社 環境経営レポート表紙

目次

	1. 環境経営方針・・・	1
	2. 事業活動の概要・・・	2
	3. 実施体制・・・	3
	4. 環境経営目標・・・	4
	5. 環境経営計画・・・	5
	6. 環境経営目標の実績・・・	6
	7. 環境経営計画結果・次年度の取組内容・・・	7
	8. 産業廃棄物処理実績・・・	19
	9. 環境関連法規・・・	20
	10. 代表者による評価と見直し・・・	21



1. 環境経営方針



環境理念



藤野建設株式会社は、事業活動による環境への影響を自覚し、環境営業を行うことにより、地域社会のより良い環境づくりと資源循環型社会に構築に貢献します。



環境方針



当社は、環境経営システムを構築し、運用する事により、継続的な環境負荷の軽減に努めます。

また、低炭素社会実現等、環境保全への建設業としての課題を明確にし、建設業だからこそ実施出来る地域社会への貢献を意識していきます。

上記を踏まえた上で、当社の事業活動において、環境に影響を及ぼす項目に対し、以下の内容を重点課題として取り組みます。

1. 環境配慮工事の推進
2. 環境関連法令の遵守
3. グリーン購入適合品(リサイクル製品)の購入推進
4. 二酸化炭素排出量(燃料及び電力等)の削減
5. 工事現場での環境保全への創意工夫・地域貢献の実施
6. 3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)による廃棄物排出量の削減

環境方針は全社員へ周知徹底させ、環境活動に関しての教育を行い、環境保全の意識を向上させます。また、上記の環境活動を毎年7月から翌年6月までを1年とした環境レポートとしてまとめ、情報の開示に努めます。



2011年3月1日 制定
2022年6月30日 改定 (Ver.6)

藤野建設株式会社
代表取締役 藤野 慶一



2. 事業活動の概要

2-1. 事業所及び代表者名

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一



2-2. 所在地及び連絡先

【本社】 〒431-1115

静岡県浜松市西区和地町6320番地

(TEL) 053-486-0239

(FAX) 053-486-3574

(E-mail) info@fujinokensetsu.co.jp

2-3. 事務局

倉田 茉奈(総務部)

名倉 美明(土木部)

2-4. 許可内容

- ・特定建設業 静岡県知事許可(特-2)第001247号
(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、浚渫工事業、水道工事業、解体工事業)
- ・産業廃棄物収集運搬 県知事許可(第02202026944号)
有効期限 静岡県 令和8年2月9日
(収集運搬は自社排出のみ)

2-5. 設立

昭和35年3月1日

2-6. 事業規模・事業活動

資本金	3,000万円
売上高	1,439百万円(R3年度概算)
従業員	38名
延床面積	776.78㎡

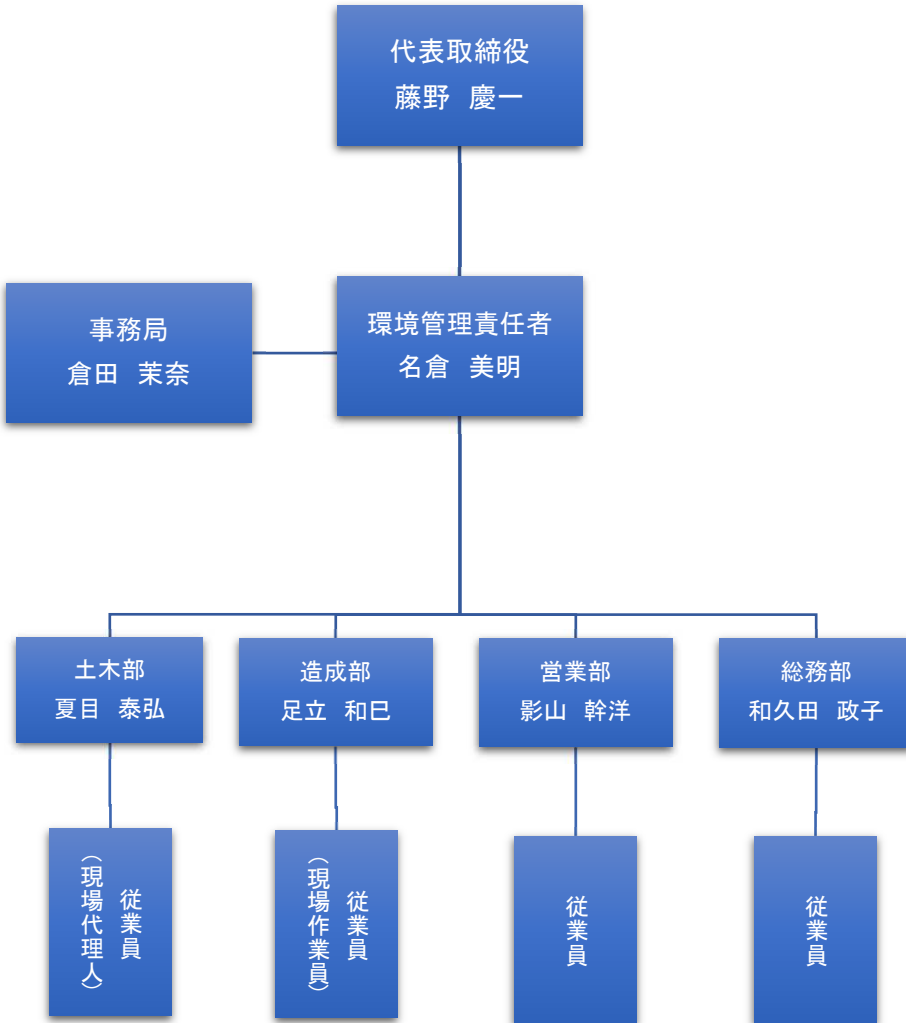
- ・総合建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、浚渫工事業、水道工事業)
- ・土質改良土プラント(山土、山砂、山砂利、山碎石、改良土の販売)
- ・建設発生土の受け入れ

2-7. 対象範囲

対象範囲は、本社及び土質改良プラントで、全組織・全活動・全従業員を対象としていません。



3. 実施体制



役割・責任・権限

(代表者)

- 環境経営方針の設定、見直し
- 環境管理責任者の任命
- 資源(人員・設備・費用)の提供
- 取組状況の評価及び見直し

(環境管理責任者)

- 環境経営目標の設定
- 取組状況の確認
- 代表者への報告

(事務局)

- 環境経営実施計画書作成
- 環境経営レポート作成
- 環境関連法規等の取りまとめ
- 教育の実施
- 文書及び記録の維持管理

(各部責任者)

- 各部における環境経営システムの実施
- 環境経営システムの達成状況の報告

(全従業員)

- 個人における環境経営システムの実施





4. 環境経営目標



環境経営目標

環境目標項目	単位	場所	R1&R2年度 平均値 (基準年度)	R3年度	R4年度	R5年度	
工事現場の環境配慮	---	現場	環境に配慮した施工及び施工機械を採用する				
グリーン購入	---	事務所	グリーンマーク商品の物品を積極的に採用する				
CO2排出量 削減	電気 使用量	kWh	事務所	35,261	34,908 -1%	34,908 -1%	34,908 -1%
			現場	2,316	2,292 -1%	2,292 -1%	2,292 -1%
	ガソリン 使用量	L/売上	事務所	37.02	36.64 -1%	36.64 -1%	36.64 -1%
			現場	---	---	---	---
	軽油 使用量	L/売上	事務所	---	---	---	---
			現場	343.35	339.91 -1%	339.91 -1%	339.91 -1%
	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	事務所	127,147	125,875 -1%	157,966 -1%	156,386.00 -1%
			現場	1,128,037	1,116,756 -1%	1,330,396 -1%	1,317,092 -1%
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	事務所	減量に努める			
	産業廃棄物 リサイクル	%	現場	99.0	99.0% 以上	99.0% 以上	99.0% 以上
地域貢献 ボランティア	地域清掃	回/年	---	1回	1回	1回	1回
水資源節約	---	事務所	節水に努める				

※ 売上とは、今年度の売上を指し、環境換算指数＝ガソリン・軽油の各使用量/今年度売上高(百万円単位)とする。

※ R1年度より購入電力CO2排出係数について以下の値を用いる。

事務所:0.395 (株)ハルエネ(登録番号:A0311) 現場:0.480 ENEOS(株) (登録番号:A0050)



5. 環境経営計画

対象	環境目標項目 取組み項目	取組み期間												備考	対象部署	責任者	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月				
工事現場の環境配慮	工事現場の環境への配慮																
	環境配慮型重機の使用	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	環境へ配慮した備品の整備、使用	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
グリーン購入	グリーンマーク適合品の採用																
	事務用品適合品の購入推進	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
CO2排出量削減	①電気使用量の削減の取組み																
	未使用時・休憩時の消灯	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
	未使用時、機器の電源を切る	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
	節電機能のある機器の積極的活用	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
	空調温度の管理を行う	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
	室温設定(夏場26℃、冬場23℃)	○	○	○				○	○	○					通年	全従業員	倉田・名倉
	②ガソリン・軽油使用量の削減																
	工事用重機の整備点検を行う	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	毎朝作業前に自主点検を行う	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	工事用重機の省エネ運転の実施	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	過積載・過負荷による作業の防止	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	エコドライブの徹底	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	社用車の定期整備点検	○		○			○			○					3ヶ月毎	社用車所有者	倉田
	③その他																
	照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	← →												適宜	総務部門	倉田	
	エコ家電の導入	← →												適宜	総務部門	倉田	
	廃棄物搬出量削減	一般廃棄物・産業廃棄物削減															
ゴミの分別回収の実施		← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
再生可能資源のリサイクル		← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
紙資源排出量の削減		← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
コピー用紙の両面使用		← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
ペーパーレス化の推進	← →												通年	全従業員	倉田・名倉		
ボランティア活動	ボランティア活動																
	河川敷の清掃活動	← →												適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)	
	建設業協会主催の清掃活動への参加		○												年1回	現場部門	名倉
各工事現場の清掃活動の実施	← →												適宜	現場部門	名倉 (各部責任者)		
水資源	節水																
	節水シール・呼びかけ	← →												通年	全従業員	倉田・名倉	
道路散水用の水の自然水利用	← →												通年	現場部門	名倉 (各部責任者)		

※凡例



:年間を通して「常に実施・意識」するもの



:年間を通して「必要に応じて実施・検討」するもの



:特に意識して実施する月



:定期的実施する月



6. 環境経営目標の実績



実績・評価

環境目標項目	単位	場所	R1&R2年度 (平均) 基準年度	R3年度		目標値比	評価	備考	
				目標値	実績値				
工事現場の環境配慮	-	現場	意識して実施する	実施出来た		100%	○		
グリーン購入	-	事務所	積極的に採用する	実施出来た		100%	○		
CO2排出量削減	電気 使用量	kWh	事務所	35,261	34,908	37,582	107%	△	○ 100%以下 △ 101%~ 110%未満 × 111%以上
			現場	2,316	2,292	2,123	92%	○	
	ガソリン 使用量	L/売上	事務所	37.02	36.64	30.86	84%	○	
			現場	-	-	-	-	-	
	軽油 使用量	L/売上	事務所	-	-	-	-	-	
			現場	343.35	339.91	246.13	72%	○	
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	事務所	127,147	125,875	118,022	93%	○		
		現場	1,128,037	1,116,756	914,823	81%	○		
廃棄物削減	一般廃棄物	kg	事務所	減量に努める	配慮出来た		100%	○	
	産業廃棄物 リサイクル	%	現場	99.0	99.0	99.9	100%	○	○ 100%以上 × 100%未満
地域貢献 ボランティア	地域清掃	件/回	-	1.0	1.0	1.0	100%	○	○ 1回以上 × 0回
水資源の節約	-	事務所	節水に努める	配慮出来た		100%	○		



ICTを活用した工事の実施



7. 環境経営計画結果・次年度の取組内容



工事現場の環境配慮



取組結果

目標	実績	評価
意識して実施	実施出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 環境配慮型重機の使用
- ・ 環境へ配慮した備品の整備、使用
- ・ 環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施

取組結果

-
-
-

取組評価

今年度も環境配慮型の重機の100%使用が達成できました。ICT施工の推進(施工提案)を積極的に行い、ICT対応型重機を最大限に活用しており、軽油使用量の削減が期待できます。

また、現場での創意工夫として、間伐材や廃材の積極的な利用等、現場単位で行えていると思います。

来年度取組目標

来年度も引き続きICT施工を推進提案していき、環境配慮型重機使用100%を目指します。それ以外の作業においても、環境基準に適合した重機・機械使用を推進します。またその他備品も、環境に配慮した製品の使用を心掛けていきたいと思ひます。



低騒音排ガス対策機械



間伐材・廃材を使った看板



グリーン購入



取組結果

目標	実績	評価
積極的に採用	実施出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 事務用品適合品の購入推進

取組結果

○

取組評価

グリーン購入においては、事務用品をカタログ購入する際に、各メーカーがグリーン購入法適用品を取り揃えており、それを積極的に社内事務用品の買い替えの度に採用している事から、徐々に適用品使用が拡大されている事の表れだと思えます。また、施工現場においても現場安全施設の間伐材使用のバリケード購入や、バージン材からリサイクル材への材料の変更提案など事務用品以外でも意識が浸透しています。

来年度取組目標

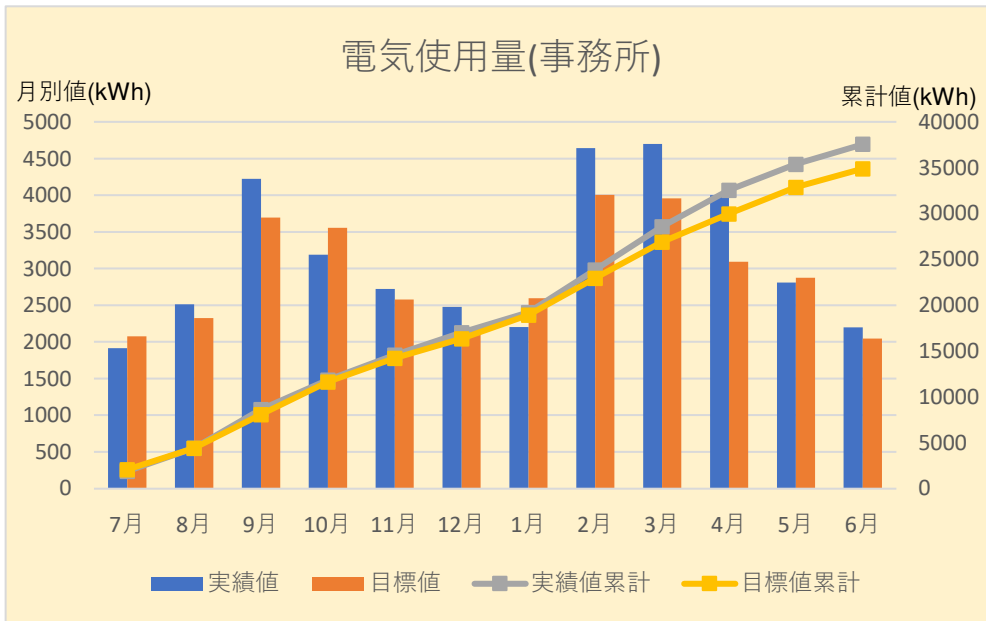
引き続きグリーン購入の目標達成継続のためにグリーン購入ガイドラインを読み環境物品等の調達推進の意義を周知していくように努力します。また一般的に購入する事務用品は、現在はほとんど適合商品なので、基本的にな毎年達成されていく状況です。現場資材についても、リサイクル材料を選定し購入・利用していく予定です。



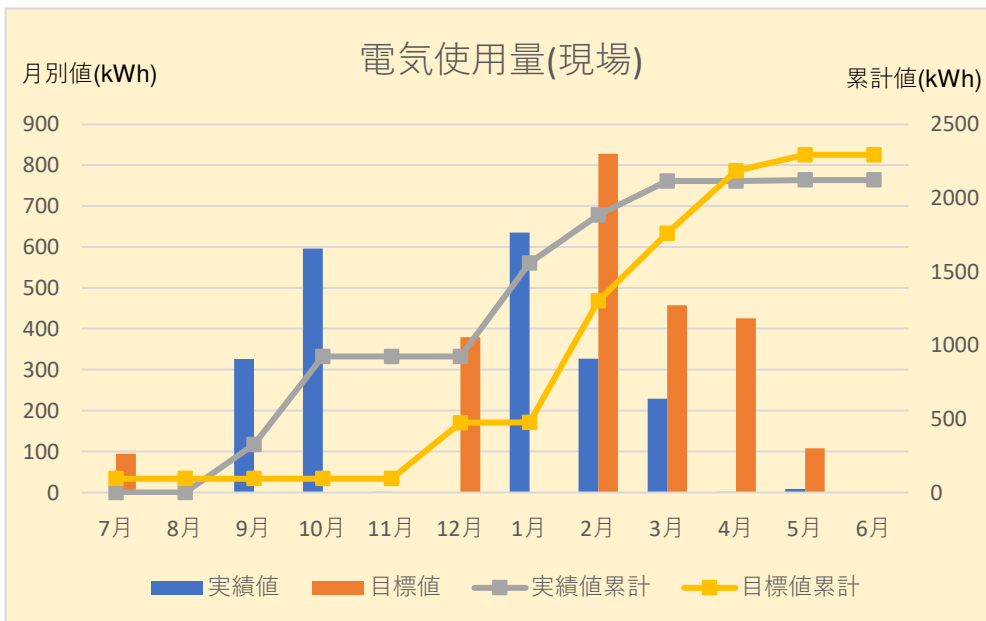
電気使用量の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
34,908	37,582	△



目標値	実績値	評価
2,292	2,123	○



取組の評価

取組内容

- ・ 未使用時・休憩時の消灯
- ・ 本社内のスイッチにステッカーを掲示
- ・ 未使用時、機器の電源を切る
- ・ 節電機能のある機器を積極的に活用する
- ・ 空調温度の管理を行う
- ・ 室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する

取組結果

○
○
○
△
△
△

※1 評価

○ よくできた △ ある程度できたが更に取り組みが必要 × できなかった(検討が必要)

取組評価

事務所電気使用量については、新型コロナウイルス感染として送風機の常時稼働や、換気～エアコン稼働の繰り返し等で、冷暖房効率の低下。分散会議・リモート講習等で、各部屋の使用状況が多くなった事で、例年の各月の使用量が増加したことが1番の要因と考えます。月単位で見ても、ほとんどの月が基準年度を超過しています。

土質改良プラント(現場電気)の使用量については、作業の平均化等を検討していますが、現状難しい状況です。

来年度取組目標

6月に社内の古いエアコンを更新しました。空調効率の改善が見込まれます。ハード面で節電を図ると共に、使う側(ソフト面)でも節電の再徹底と教育を図ります。また、室外機周りの清掃や工夫等で節電に努めていきます。また、送風効率を改善させる工夫を行いました。



ステッカーの表示



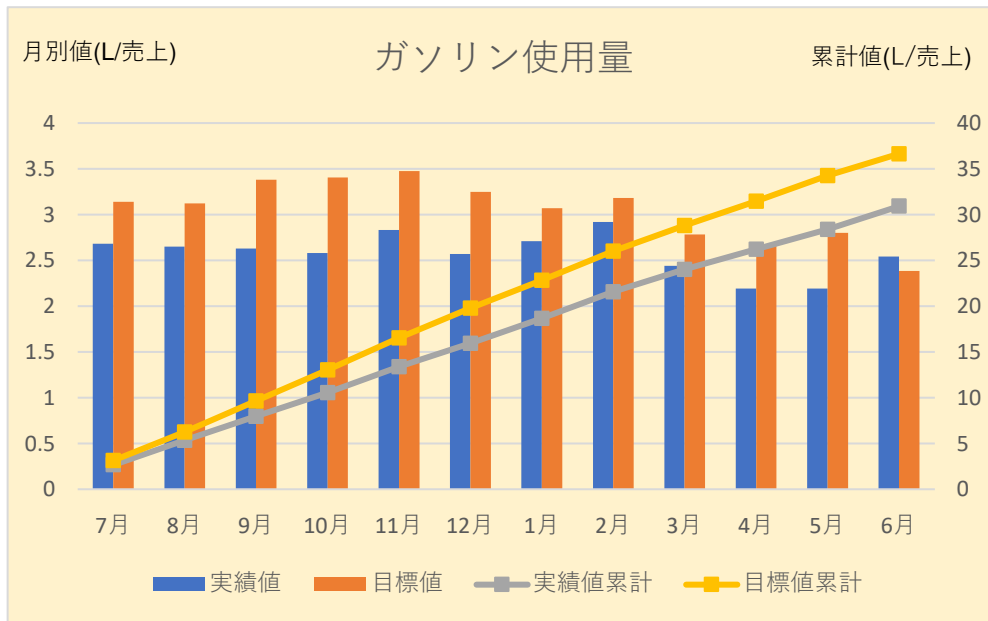
空調の空気循環



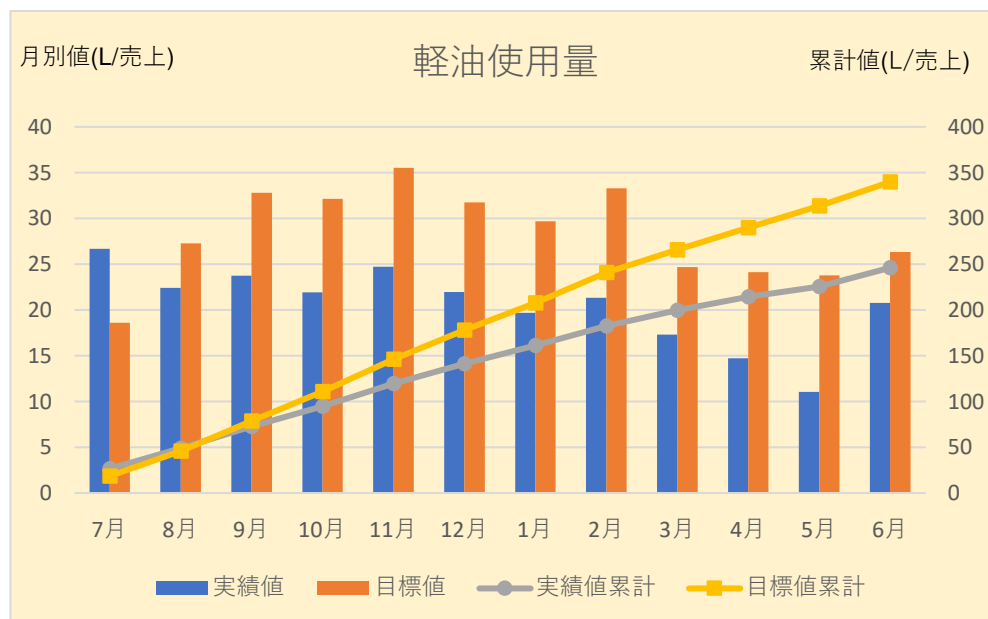
ガソリン・軽油使用量の削減



取組結果



目標値	実績値	評価
36.64	30.86	○



目標値	実績値	評価
339.91	246.13	○



取組の評価

取組内容

- ・ 工事用重機の整備点検を行う
- ・ 毎朝作業前に自主点検を行う
- ・ 工事用重機の省エネ運転の実施
- ・ 過積載・過負荷による作業の防止
- ・ エコドライブの徹底
- ・ 社用車の定期整備点検

取組結果

-
-
-
-
-
-

取組評価

ガソリン及び軽油使用量については、売上額により変動する為、例年より費用対効果の高い燃料使用、経済的有用な使用を行う事が出来ている。特に軽油使用量が昨年(基準年度)から大きく下回っている事から、重機作業での省エネ運転や過負荷作業減少等の取組み効果と言えます。

来年度取組目標

引き続き重機、車両の省エネ運転を心掛けると共に、現場サイドでも効率的な作業の工夫、新技術新工法を積極的に導入し、更なる改善に努めていきたいと思えます。また、社用車に関しては、再来年度に更新があります。したがって来年度が1番古い状態です。定期点検だけでなく、日常の点検や異常の確認等行っていきたいです。



GNSSを用いた転圧



ICT施工



一般廃棄物・産業廃棄物の削減



取組結果

廃棄物(一般廃棄物)

目標	実績	評価
減量に努める	実施出来た	○

廃棄物(産業廃棄物)

品名	排出量(t)	リサイクル量(t)	
コンクリート殻	1,232.95	1,232.95	100.0%
アスコン殻	3,428.50	3,428.50	100.0%
木材	26.00	26.00	100.0%
混合廃棄物	18.07	15.38	85.1%
建設汚泥	60.82	60.82	100.0%
合計	4,766.34	4,763.65	99.9%

※混合廃棄物=0.26t/m³

目標値	実績値	評価
99.0%	99.8%	○



取組の評価

取組内容	取組結果
・ ゴミの分別回収の実施	○
・ 再生可能資源のリサイクル	△
・ 紙資源排出量の削減	△
・ コピー用紙の両面使用	△
・ ペーパーレス化の推進	○

取組評価

一般廃棄物排出量は、今年度より努力目標としました。その中で、社内文書の一部をPDF化させ、会社用SNSでの発信等を行い、無駄な紙資源の節約を行えています。またその形が定着してきています。産業廃棄物リサイクル率に関しては、高い基準を保っています。各現場毎に廃棄量を抑えられています。

来年度取組目標

一般廃棄物排出量については、ゴミ自体の減量と発生ゴミの資源化の2大体制で今後も減量化に努めていきます。

産業廃棄物のうちの建設混廃については、会社だけでなく、現場単位でも減量に努めていきます。



ゴミ減量の掲示



紙ゴミ分別ブース



地域貢献・ボランティア



取組結果

目標値	実績値	評価
1回	1回	○



取組の評価

取組内容

- ・ 河川敷の清掃活動
- ・ 建設業協会主催の清掃活動への参加
- ・ 各工事現場の清掃活動の実施

取組結果

-
-
-

取組評価

地域貢献ボランティアにおいては、今年度も8月に行われた建設業協会主催のボランティア活動に参加してきました。毎年行われているので、欠かさず参加を心掛けて取り組んでいきたいと思ひます。また、会社周辺の除草作業等も適宜実施する事が出来ました。

来年度取組目標

引き続き建設業協会主催の河川敷での清掃活動に参加していき地域貢献、ボランティアに努めていきたいと思ひます。また、本社及び工事現場単位での除草を含めたボランティア活動も引き続き実施していきたいと考えています。



建設業協会除草作業



現場周辺奉仕作業



水資源節約



取組結果

目標	実績	評価
節水に努める	配慮出来た	○



取組の評価

取組内容

- ・ 節水シール貼付、節水呼びかけ
- ・ 道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)

取組結果

-
-

取組評価

井戸水を使用している為、明確な使用量の把握は出来ませんが、会社全体として、給湯室への節水シールの貼り付けや掲示等で十分な呼びかけは来ています。
また、道路散水用の水は、本社井戸水又は、普通河川より取水(河川法適用外)し、利用できています。

来年度取組目標

屋内作業では節水が徹底されているので、来年度は屋外作業(洗車や給水)での蛇口の締め忘れや、漏水の防止に努めていきたいと考えます。また漏水の目視調査等も定期的にも実施していきます。



ステッカーの掲示



環境経営計画取組評価と来年度の取組み

対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
環境配慮 工事現場の	工事現場の環境への配慮			
	環境配慮型重機の使用	○	環境配慮型重機の100%使用が達成でき、環境に配慮された施工ができた。	来年度も環境配慮型重機の使用100%を目指して取り組んでいきたい。
	環境へ配慮した備品の整備、使用	○	環境配慮製品の使用はできていた。	社内で環境配慮製品の購入を案内・検討していく。
	環境を考慮した創意工夫・地域貢献実施	○	現場単位で、実施が出来ている。現場特性によって多種の実施事例がある。	次年度も、各現場で実施していく。
グリーン購入	グリーンマーク適合品の採用			
	事務用品適合品の購入推進	○	事務用品だけでなく、安全備品等についてもグリーンマーク及び環境配慮商品を購入している。また施工提案も実施している。	今後も、リサイクル材の活用やグリーンマーク対象商品を選定したうえで購入していく。
CO2 排出量削減	①電気使用量の削減の取組み			
	未使用時・休憩時の消灯	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。また随時整備していく。
	本社内のスイッチにステッカーを掲示	○	ステッカーを用意し、常時社員が見える位置に設置した。	引き続き行うように心がける。また随時整備していく。
	未使用時、機器の電源を切る	○	PC、電灯等こまめな消灯を遂行できている。	引き続き行うように心がける。
	節電機能のある機器を積極的に活用する	△	年度末(6月)に更新した。	更新と同時に送風効率の改善も図った為、効果に期待する。
	空調温度の管理を行う	△	不在時は電源を切って外出が出来ている。	健康管理、事業の推移により、再考する必要がある。特に猛暑日は健康管理を優先する。
	室温を夏場26℃、冬場23℃程度になるよう設定する	△	換気を行う事で、冷房効率低下→急冷の悪循環があった。	夏場は26℃～25℃の中で極力頑張る。その分、エアコンの稼働時期等を考慮する。
	②ガソリン・軽油使用量の削減			
	工事用重機の整備点検を行う	○	重機の整備点検は使用前に必ず確認・記録をし、安全な施工をした。	怪我がないように毎回整備点検を行っていくようにしていく。
	毎朝作業前に自主点検を行う	○	自主点検を行い、安全に努めて活動ができていた。	事故防止のために今後も引き続き行うようにする。
	工事用重機の省エネ運転の実施	○	経済的な運転が実行されている。	引き続き省エネ運転の心掛けて、低燃費機械の選定等を心掛けていく。
	過積載・過負荷による作業の防止	○	過積載防止に日頃から努める事が出来ている。	引き続き行うように心がける。
	エコドライブの徹底	○	運転時の意識向上ができガソリン使用量が減ってきている。	エコドライブ10のすすめに目を通してもらい実行できるようにする。
	社用車の定期整備点検	○	定期点検は確実に実施されている。	定期点検以外でも、異音や不調等があれば、早い対処を心掛ける。
	③その他			
	照明灯を蛍光灯からLED灯に変更	—	今年度は実績なし。	来年度変更予定なし
エコ家電の導入	—	エアコンの更新	来年度変更予定なし	

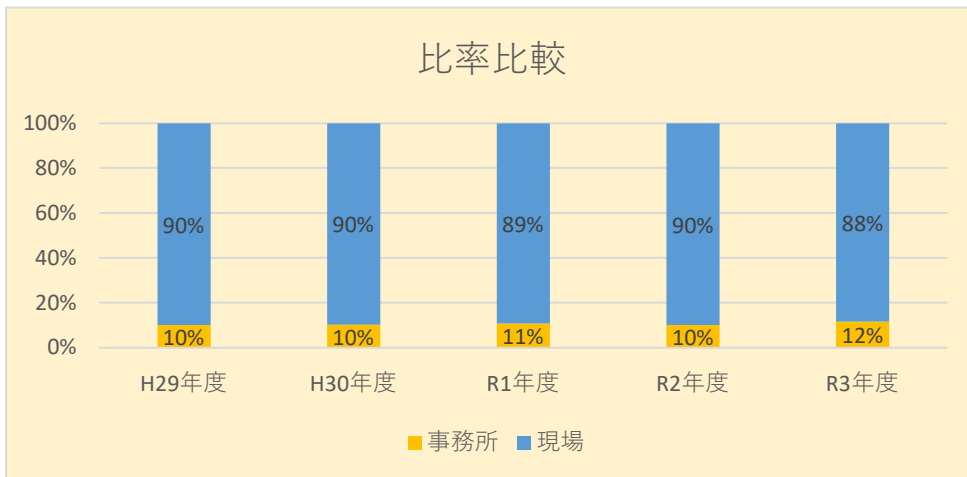
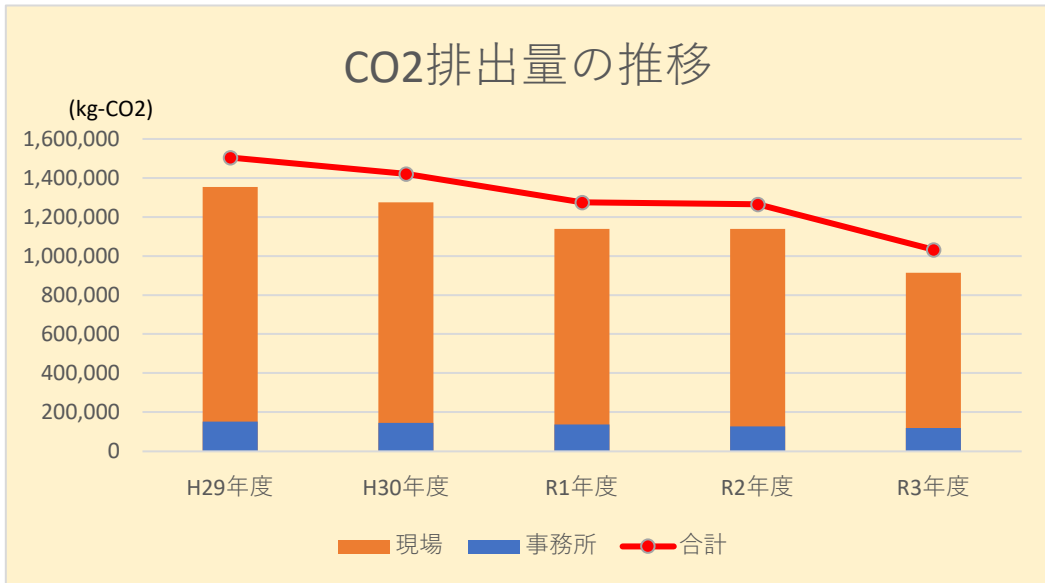
対象	環境目標項目	判定	取組み	
	取組み項目		本年度評価	来年度取組内容
廃棄物搬出量削減	一般廃棄物・産業廃棄物削減			
	ゴミの分別回収の実施	○	混廃排出量削減の意識は、かなり浸透していると思う。	混廃ボックスへの投棄ルールを明確にする。処理施設からの案内の周知徹底を図る。
	再生可能資源のリサイクル	△	ゴミの減量に繋がると思うが、効果検証と更なる徹底を図る。	環境保全のため来年度も継続して取り組んでいくようにする。
	紙資源排出量の削減	△	紙ゴミリサイクルの分別ブースを設置したが、効果は検証中。	分別スペースを引き続き有効活用し、工夫を重ねる。
	コピー用紙の両面使用	△	実施は出来ているが、効果・実績の検証が必要。	紙資源削減のため会社全体で再度周知し、取り組んでいく。
	ペーパーレス化の推進	○	回覧文書のデータ化等、ペーパーレス化は進んでいる。	来年度も引き続き行うようにしていく。
ボランティア	ボランティア活動			
	河川敷の清掃活動	○	定期的に清掃活動を行う事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。その他ボランティアも積極的に行う。
	建設業協会主催の清掃活動への参加	○	8月に実施。参加する事が出来た。	来年度も引き続き行うようにしていく。
	各工事現場の清掃活動の実施	○	各工事現場ごとに清掃活動を行い地域貢献・ボランティアに努めることができた。	継続して工事現場、その周辺を常に綺麗に保ち、施工を行う。
節約	節水			
	節水シール・呼びかけ	○	給湯室に節水シールを貼ることで節水を呼びかけることができた。	引き続き節水シールを貼っていき呼びかけていく。
	道路散水用の水の自然水利用(河川法適用外)	○	実施出来ている。	引き続き実施していく。



CO2排出量の推移

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
事務所	151,752	145,104	136,453	126,291	118,022
現場	1,352,992	1,275,639	1,138,140	1,139,408	914,823
合計	1,504,744	1,420,743	1,274,593	1,265,699	1,032,845

(単位: kg-CO2)



過去5年間のCO2排出量を比較しました。CO2排出量は、年々減少傾向にあります。排出量は、売上高の増減に関わらず、事業活動全体による排出量です。したがって年々、環境を考慮した事業を行っている証拠となると考えます。引き続き、CO2排出量の減量に努めていきます。

また、減量のポイントとして、現場活動での排出量が全体の90%を占め、且つ軽油使用量が最も大きなウェイトを占めています。したがって、軽油使用量の減量(高効率な作業等)がCO2排出量削減のキーポイントという事を頭に入れ、事業活動を行っていきます。



8. 産業廃棄物処理実績



産業廃棄物収集運搬状況

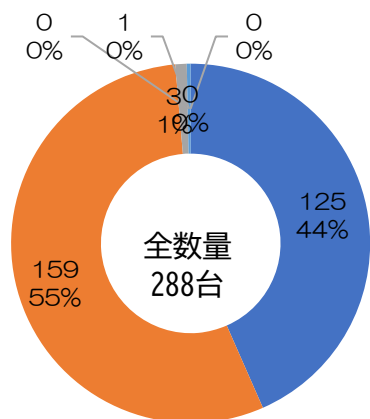
※自社排出、自社収集運搬分のみ

表.1 産業廃棄物収集運搬内訳

廃棄物の種類	台数	数量(t)
コンクリート殻	125	767.85
アスコン殻	159	1,108.45
伐採木材	3	6.00
建設混廃	0	0.00
建設汚泥	1	0.10
金属くず	0	0.00
合計	288	1,882.40

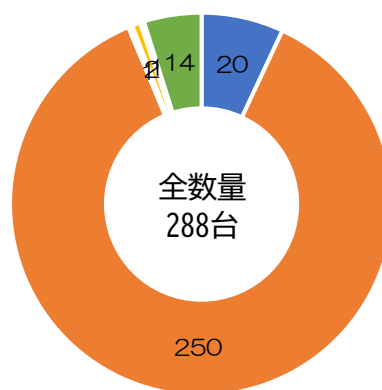
表.2. 搬出先内訳

搬出先(最終処分場)	台数
浜北砕石(株)	250
西部合材リサイクルセンター(協)	20
天竜川砂利プラント(協)	14
阿多古建設事業(協)	2
(株)中野町チップ	1
中村建設(株)LSS浜松プラント	1
合計	288



- コンクリート殻
- アスコン殻
- 伐採木材
- 建設混廃
- 建設汚泥
- 金属くず
- 廃プラスチック

図.1 産業廃棄物収集運搬内訳



- 西部合材リサイクルセンター(協)
- 浜北砕石(株)
- 中村建設(株)LSS浜松プラント
- 阿多古建設事業(協)
- (株)中野町チップ
- 天竜川砂利プラント協同組合

図.2. 搬出先内訳

産業廃棄物の収集運搬については、自社を排出事業者として収集運搬し、所定の搬出先まで適切に運搬されています。搬出先の処分業者は全て産業廃棄物処分業許可を取得している業者と確認出来ています(全288件中288件)。また、自社搬出分は全て公共工事において発生する産業廃棄物であり、厳しい管理のもと処分までの確認を行っています。

産業廃棄物収集運搬の管理については、全て電子マニフェスト(JW-NET)を利用し管理しています。



9. 環境関連法規

1. 環境関連法規等の遵守状況

令和4年6月30日

環境関連法規等の名称	概要	適用・該当項目の詳細	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正な処理	収集運搬・処分業者の許可確認及び契約の締結(契約書の5年間保存)	○
		マニフェストの交付・保存(電子マニフェスト)	○
		マニフェストの交付状況の報告	○
		許可内容の更新・運搬車両への提示	○
		多量排出事業者の責務(計画書・報告書)	○
	現場保管	保管場所の掲示板設置	○
	特別管理産業廃棄物	法令に基づいた処分	該当なし
リサイクル法	指定副産物の適正な処理	指定副産物の発生抑制、再生利用の努力	○
		再生資源利用計画書・実施書、再生資源利用促進計画書・実施書の作成	○
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	○
		発注者への書面による計画等説明及び完了報告	○
		分別解体等	○
		再資源化等の促進、再生資源の使用	○
		付着物、残存物、有害物質の調査	該当なし
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業における振動規制基準の遵守など	作業開始の7日前までに届出	該当なし
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設業における振動規制基準の遵守など	規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
労働安全衛生法 石綿障害予防規則	工作物の解体 石綿等を取り扱う業務	作業開始7日前まで届出	該当なし
オフロード法	CO2排出量の抑制	規制基準の遵守(低騒音型建設機械の使用等)	該当なし
家電リサイクル法	特定家庭用家電の排出処分	事前調査、作業計画、管理、測定、健康診断 各項目の届出と保管	該当なし
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器の排出処分	現場で使用されている建設機械の適合基準の表示	○
自動車リサイクル法	廃棄自動車の適正処分	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	○
グリーン購入法	グリーン製品の購入	小売店へ料金を支払い引渡す又は自治体指定の方法で引取り依頼	該当なし
浄化槽法	水質汚濁の防止	リサイクル料金の支払い又は指定回収業者への廃車の引渡し	該当なし
		グリーン購入の推進	○
浄化槽法	水質汚濁の防止	浄化槽の設置届出	○
		浄化槽の定期的な保守点検及び清掃、水質の定期検査	○
消防法	危険物の貯蔵・取扱	危険物取扱者の標識と掲示板の提示	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品のエアコン 建機用エアコン	簡易点検記録	○

2. 違反・罰則・提訴の有無

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例について、違反はありませんでした。
また、関係当局から指導・指摘、近隣・利害関係者からの提訴もありませんでした。

令和4年7月1日

(確認者) 事務局: 倉田 茉奈、名倉 美明



10. 代表者による評価と見直し

令和3年8月10日

報告	作成
名倉	倉田

1. 見直し関連情報

	項目	確認:(必要に応じてコメント)
1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録文書として作成しました。
2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成が確認出来ました。
3	環境活動計画及び取組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り実施されています。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載しました。遵守されています。
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 記録されています。問題ありません。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 適宜記録保管されています。
7	その他()	<input type="checkbox"/>

2. 代表者による全体評価、見直し指示

全体的な評価としては、現状に合わせた環境目標値見直し後の初年度でした。事業内容の中で、最も地球環境及び環境経営に影響を与える項目である「ガソリン・軽油使用量」については、基準年度(昨年度)を大きく下回る事ができ、健全な環境経営を進められていると思います。唯一評価の悪かった項目である電気使用量については、新型コロナウイルス蔓延による3密解消の為の分散業務(遠隔講習等)に伴う、各部屋の使用頻度増加の影響は少なからずあると思います。

来年度への課題として、更なる石油燃料使用量の減量を主に進めていけたらと思います。「大規模工事だから」「請負金額が大きいから」大量消費するのではなく、工事規模が大きくなるほど、減量出来る工夫を考え実施していけたらと思います。また電気使用量については、設備改善による解消を考えるだけでなく、従業員1人1人の意識向上を図って改善に取り組めたらと思います。働き方改革の一環として、ノー残業デーの実施や、休日の確保等行っていますので、各取り組みが連動し、相乗効果を生むよう、社内でも意思疎通を図って、今後とも取り組んでいこうと思います。

令和4年8月10日

藤野建設株式会社

代表取締役 藤野 慶一

	見直し項目	改正の必要性	内 容
1	環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
2	環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
3	環境経営計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
4	実施体制	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし
6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	変更なし